

年頭のご挨拶

奥出雲町長 井上勝博

新年明けましておめでとうございます。

昨年暮れの衆議院総選挙では政権交代の審判が下されました。新内閣には、国民生活や経済活動などの安定のため、諸課題に早急に対応していただきたいと思ひます。

さて、昨年古事記編纂千三百年を記念して開催された「神話博しまね」が、盛況のうちに幕を閉じました。本町においても、奥出雲町神々の国しまね推進協議会が神話ゆかりの地を巡るイベントを初めて実施したところ、参加者から「来年もぜひ開催してほしい」との声を多数お寄せいただいたところであります。なお、

本年は風土記編纂の勅令から千三百年となります。町民の皆様の意見を取り入れながら、イベントを考えていきたいと思ひます。また、本町が事務局を持つ鉄の道文化圏推進協議会が東京の国立博物館で開催しました「たたらシンポジウム」にも両日とも多くの方に来場いただき、「たたら製鉄」が日本独自の製鉄技術・産業遺産として、また「人と自然との共生」という面で、大変価値のあるものということを再認識していただきました。今後とも日本が誇る製鉄技術「たたら製鉄」の「文化」と「価値」を世界に情報発信してまいります。町の特産品に目を向け

ますと、奥出雲仁多米(株)の出品した仁多米が第四回米・食味分析鑑定コンクール国際大会において、三千九百十五点の出品米の中から見事に国際総合部門で金賞に選ばれました。この仁多米が縁で、モロッコ王国のサミール・アール駐日大使夫妻を奥出雲町にお迎えすることもできました。今後も「仁多米」をはじめとする農業や他産業を通じた国際交流活動を促進させ、厳選された付加価値の高い奥出雲ブランドを、全国・世界に向けて情報発信してまいります。

また、平成二十四年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会では、横田高校男子ホッケー部が全国の強豪を相手に、見事準優勝を勝ち取ってくれたほか、第四十二回全日本中学生ホッケー選手権大会では、仁多中学校男子ホッケー部が準優勝、横田中学校男子ホッケー部が第三位という好成績でありました。秋の国体

においては、成年男子チームが準優勝するなど、目覚ましい活躍があった年でもありました。さて、本町の平成二十四年度一般会計予算は、十二月補正予算後で約百六十五億二千五百万円を計上することになりました。就任以来、特に最重要課題と位置付けております「安心して子どもを生み、育てることのできる環境づくり」は、子育てに対する様々な不安や負担の軽減、仕事と家庭の両立支援などの施策を積極的に行い、子育て家庭の安心感と、子育て世代に望まれる環境づくりを今後も引き続き行つてまいります。

年越しの深々とした空気に染み入る太鼓の音

大晦日恒例の仁多乃炎太鼓による年越し演奏会が島根県仁多集合庁舎にて行われ、観客や関係者およそ四十人が演奏と共に新年を迎えました。当日は降り続く雪に一面覆

われた中、松明を灯し、更にライトアップされた庁舎を背に、メンバーは時々吹雪く天候にも負けず、渾身の演奏を披露しました。新年を迎える直前には全員でカウントダウンを行い、共に新春を祝いました。

観客は用意された松明で暖を取りながら冷たい空気をぬって遠くまで染み渡る太鼓の音を楽しみました。



雪の舞う中、渾身の演奏

あけましておめでとうございます

～新春を迎え、様々な催しが町内で行われました～

町の更なる発展を皆で願う

新年の幕開けを祝う「奥出雲町新年賀詞交換会」が一月四日にカルチャープラザ仁多で開催されました。会には町三役を始め、議員、自治会長、消防団、町内企業や各種団体の代表など約百五十人が集いました。来賓を代表し、糸原徳康島根県議会副議長、福本修奥出雲町議会議長からそれぞれあいさつがあり、奥出雲町商工会の植田良二会長の乾杯にて賀詞交換が行われました。参加者は互いに旧年中の御礼と新年のお祝いのあいさつをしながら、更なる飛躍の年にするために力を合わせることを誓いました。



▲新春を祝い植田商工会長が乾杯

平穏な心で新たな年を迎える

～剣道越年稽古～



▲黙想で新年を待つ剣士たち

仁多郡剣道連盟が主催する毎年恒例の越年稽古が仁多中学校武道場で行われました。大晦日の午後十一時から平成二十四年の稽古納をし、剣士や関係者約七十人が一同正座し黙想しながら新年を待ちました。静まり返った武道場に新年を告げる時報が鳴り響き、全員で新年のあいさつをした後、米原清治会長から「剣士としてはもちろん、人として周りの人への感謝を忘れず精進してほしい」と年頭の言葉がありました。子どもたちは年配の上級者へ稽古を申し入れ、元日から厳しい練習に取り組みました。